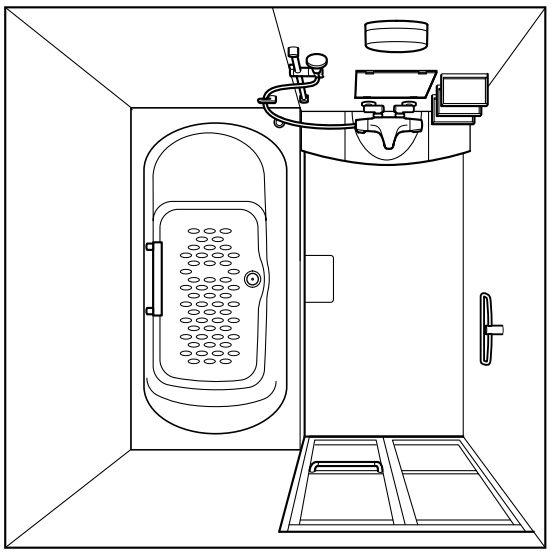
システムバスルーム

グランデージ 北海道版

取扱説明書（追補版）

グランデージ取扱説明書（GPU-0326）と本書（追補版）を合わせてご覧ください。

・水栓を使う ……グランデージ取扱説明書および本書1ページをご覧ください。
・浴槽側水栓の水抜き
……本書3ページをご覧ください。
・洗い場側水栓の水抜き
……本書4ページを確認し、その指示に従ってください。



この取扱説明書やお手入れガイドに書かれている注意事項は、必ず守ってください。不適切な使用やお手入れにより事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承願います。

※ この取扱説明書とお手入れガイド、水栓、機器類の取扱説明書は、必要なときにすぐ取り出せるところに保管してください。

※ 転居される場合、次に入居される方にこの取扱説明書とお手入れガイドをお渡しください。

取付業者の皆様へ
取扱説明書と**お手入れガイド**は必ずお客さまにお渡しください。

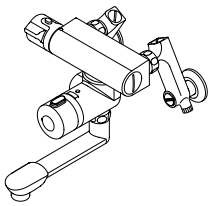
浴槽にお湯をためる/壁付定量止水サーモ水栓

水栓を使う（浴槽側）

自動湯張りの給湯器がついている場合は、給湯器の取扱説明書をご覧ください。

■水栓の種類

お使いの水栓をご確認ください。
(　　)内は水栓の取扱説明書品番を示します。



壁付定量止水サーモ水栓
代表品番
BF-7340TN(220)-PU1
(GMS-1081)

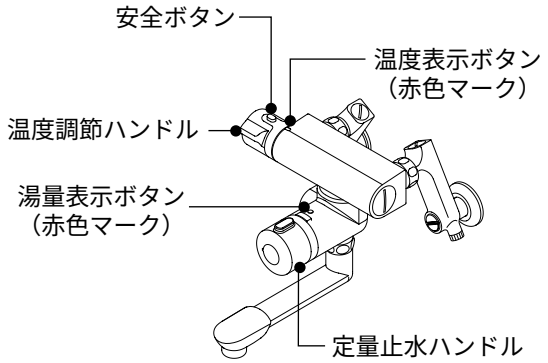
浴槽にお湯をためる/壁付定量止水サーモ水栓

■壁付定量止水サーモ水栓の場合

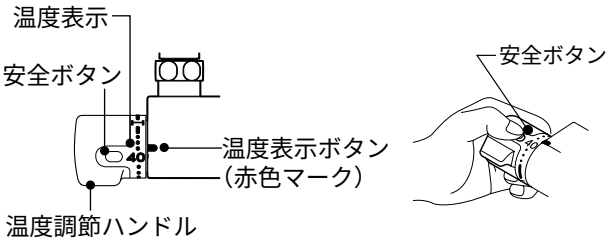
詳しくは水栓の取扱説明書（GMS-1081）をご覧ください。

● 温度を調節するには

お好みの目盛を温度表示ボタン（赤色マーク）に合わせます。目盛は「40」を目安にしてください。高温側に回すと、「40」の表示を少し過ぎたところで一度温度調節ハンドルが止まります。
さらにお湯の温度を上げたい場合は、安全ボタンを押しながら回してください。
高温側は目盛「H」付近（約45℃）でロックされるように配慮しています。

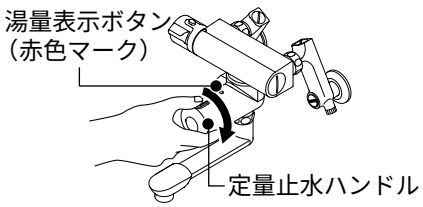


安全ボタンを押して高温のお湯を出した場合は、ハンドルを必ず目盛「40」以下に戻してください。
※ 目盛は温度表示ではありません。温度調節の目安としてください。



● 吐出量を調節するには

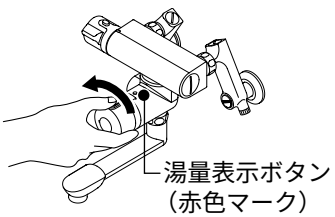
定量止水ハンドルを右（時計回り）に回して、定量止水ハンドルの数字（湯量目盛：L）を本体の湯量表示ボタン（赤色マーク）にセットしてください。
（例）200Lを必要とする場合は、目盛「200」を湯量表示ボタン（赤色マーク）に合わせます。



「100」以下の目盛にセットするときは、ハンドルを1度「100」以上の目盛に回してから戻してセットしてください。

浴槽の大きさ	目盛
カウチ浴槽	250
アームチェア浴槽	250
ソファ浴槽	300

連続して吐出する場合は、定量止水ハンドルを左（反時計回り）に回して、「ON」のマークを湯量表示ボタン（赤色マーク）に合わせてください。
定量止水ハンドルを「OFF」に戻さない限り連続して吐出されます。



ONE POINT ワンポイント

浴槽の大きさに合わせた適量目盛は、上表を参考にして決めてください。

冬期凍結の恐れがある場合/壁付定量止水サーモ水栓

水栓の水抜方法

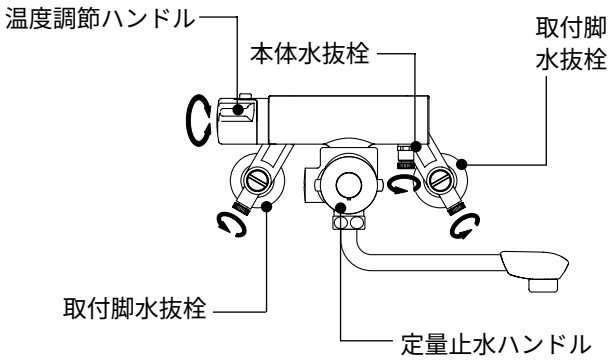
詳しくは水栓の取扱説明書をご覧ください。

■浴槽側水栓の水抜方法

● 壁付定量止水サーモ水栓の水抜方法

❶ ご家庭の水抜栓で水抜操作をします。
❷ 定量止水ハンドルを「ON」にします。
❸ 取付脚の水抜栓（2か所）を開けます。
❹ 温度調節ハンドルを「C」側いっぱいに回します。
❺ 本体の水抜栓（1か所）を開けます。
❻ 温度調節ハンドルを数回「C」側から「H」側まで回します。

※ **再通水前には、水抜栓（3か所）を閉じて定量止水ハンドルを「OFF」に戻してください。**



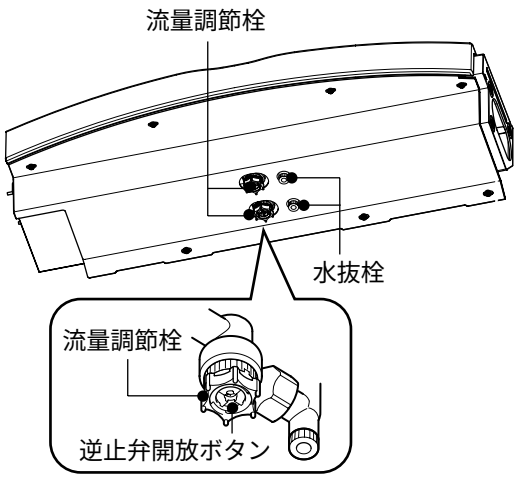
冬期凍結の恐れがある場合/洗い場側水栓

■洗い場側水栓の水抜きについて

⚠ 注意

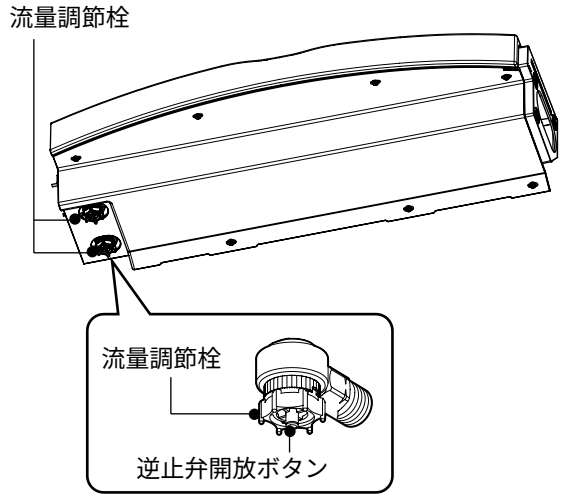
水抜栓、流量調節栓を操作する際に、洗面器カウンターの中に指を入れないでください。
※ **ヤケドやケガをする恐れ**があります。

カウンター下を見てどのタイプに該当するか確認してください。
※タイプにより水抜きの方法が異なります。
※Fタイプ、シャワーパネルの場合はグランデージ取扱説明書（GPU-0326）25ページをご覧ください。



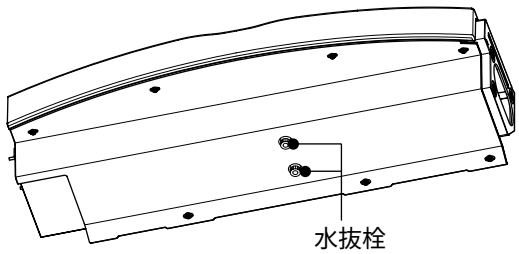
※流量調節栓と水抜栓がカウンターの中央付近にあります。

本書5ページをご覧ください。



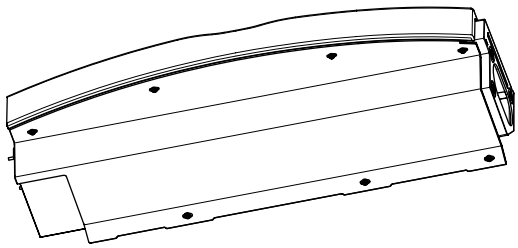
※流量調節栓のみがカウンターの浴槽側にあります。

グランデージ取扱説明書（GPU-0326）24ページをご覧ください。



※水抜栓のみがカウンターの中央付近にあります。

本書6ページをご確認ください。



※流量調節栓、水抜栓はありません。

グランデージ取扱説明書（GPU-0326）25ページをご覧ください。

冬期凍結の恐れがある場合/プッシュ水栓

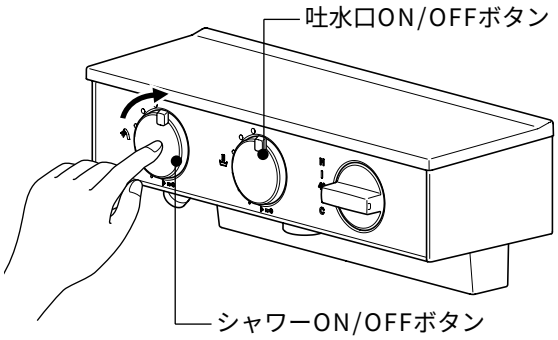
■洗い場側水栓の水抜方法

● プッシュ水栓の場合

❶ ご家庭の水抜栓で水抜操作をします。

❷ シャワーヘッドを上段のシャワーフックにかけます。
※ スライドフック付握りバーの場合は、フックを最上部までスライドします。
※ スイッチ付シャワーの場合は、吐水スイッチを押します。

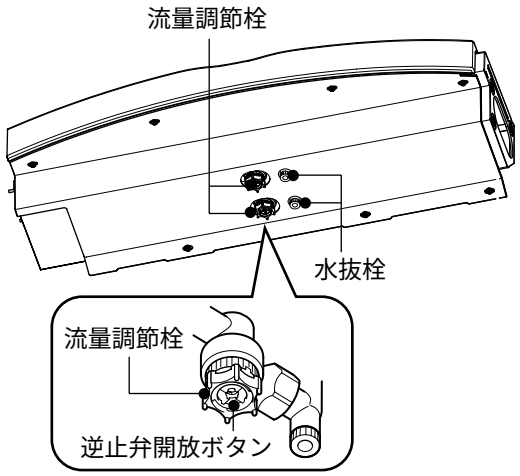
❸ シャワーON/OFFボタンを右（時計回り）に回して流量を最大にし、ボタンを押して吐水状態（▬）にします。



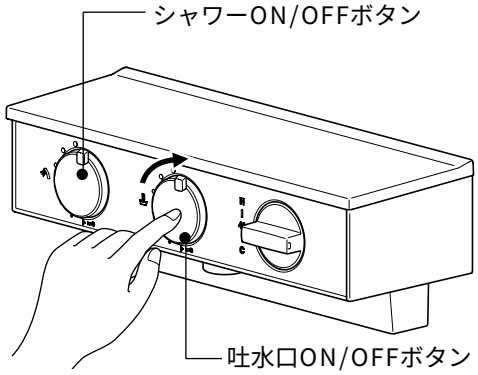
❹ 洗面器カウンター下の水抜栓（2か所）を開けます。

❺ 逆止弁開放ボタン（2か所）を1分以上押して、開放します。
※逆止弁開放ボタンは通水により自動復帰（閉止）します。

❻ シャワーヘッドを振り十分に水を切って床に置きます。



❼ 吐水口ON/OFFボタンを右（時計回り）に回して流量を最大にし、ボタンを押して吐水状態（▬）にします。



❽ 温度調節ハンドルを数回「C」側いっぱいから「H」側いっぱいまで回します。

※ 再通水前には、温度調節ハンドルを40℃以下に戻し、シャワーON/OFFボタン、吐水口ON/OFFボタンを押して、それぞれのボタンを止水状態（▬）にしてください。また、水抜栓（2か所）を閉じてください。

冬期凍結の恐れがある場合/壁付サーモ水栓

● 壁付サーモ水栓の場合

スイッチ付シャワー止水バルブの開放
（スイッチ付シャワー付きの場合）

❶ スイッチ付シャワーヘッドの吐水スイッチを押します。

❷ シャワー・バス切替ハンドルを『シャワー』側に回し、シャワーヘッドから水を出します。

❸ シャワー・バス切替ハンドルを「止」位置に戻します。

水抜き操作

❶ ご家庭の水抜栓で水抜操作をします。

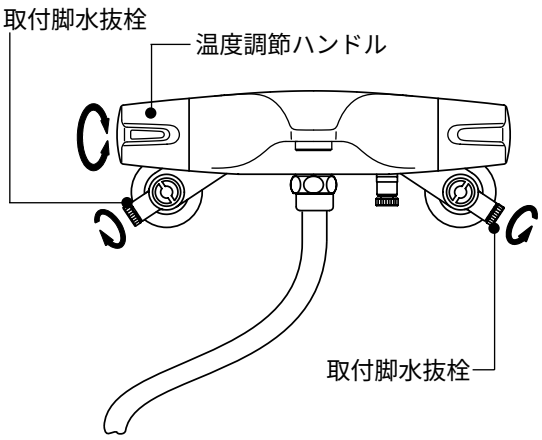
❷ シャワーヘッドを上段のシャワーフックにかけます。

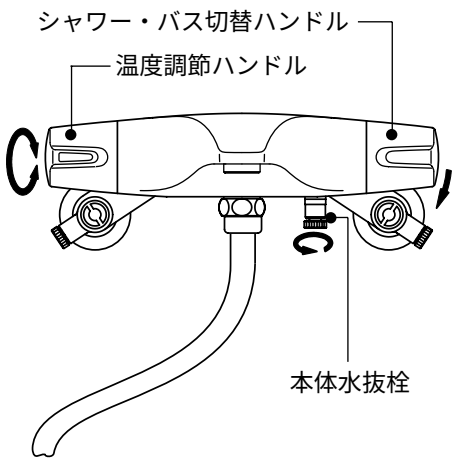
❸ 取付脚の水抜栓（2か所）を開けます。

❹ 本体の水抜栓を開けます。

❺ シャワー・バス切替ハンドルを吐水口側（下）に回します。

❻ 温度調節ハンドルを数回「C」側から「H」側まで回します。

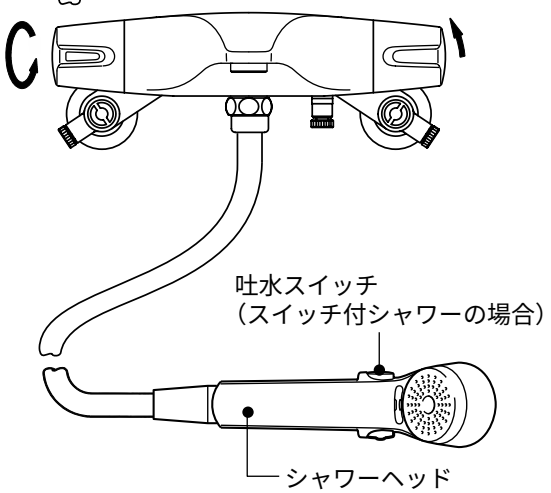




❼ シャワーヘッドを最上段のシャワーフックにかけたまま、シャワー・バス切替ハンドルをシャワー側（上）に回します。
※ スイッチ付シャワーの場合は、吐水スイッチ（青）を押します。

❽ 温度調節ハンドルを数回「C」側から「H」側まで回します。

❾ シャワーヘッドを振り十分に水を切って、床に置きます。



❿ 洗面器カウンター下の水抜栓（2か所）を開けます。

※ **再通水前には、全ての水抜栓（5か所）を閉じてシャワー・バス切替ハンドルを「止」位置に合わせ、温度調節ハンドルを40℃以下に戻してください。**